

| | | | | | | | |
|--|---|-----|-----|-----------|---------|-------|----|
| 授業科目 | 事例研究（芸術文化資源） Case Study (Arts and Cultural Resources) | | | 担当教員 | 川上 直彦 | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 1・2年／後期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>人類の文明発祥の地に興った「古代オリエント文明（古代メソポタミア文明、古代エジプト文明、古代インダス文明、古代エーゲ文明等）」を考古学、古代史、そしてユネスコ世界文化遺産の観点から考察する。</p> <p>日本語の文献講読を主体として展開し、古代オリエント文明において帝国と定義づけ可能な複数の中央集権国家が台頭し、古代オリエント世界全体が一つの巨大帝国に統合されるまでの過程を考察し、理解する。また、日本語の文献講読による基本理解にプラスして、英語の文献講読も追隨して行う。そして、古代オリエント世界において人類最古の文字として発明された楔形文字の中で、国際共通語として使用された古代アッカド語を学習し、さらに幅広く、より深く、古代オリエントにおける文明の発達過程を考察し、理解し、日本語と外国語文献両方から考古学と古代史に関する課題レポートの執筆を展開できる能力を習得することを目標とする。</p> | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | | |
| 関心・意欲 ・態度 | 古代オリエント文明の遺跡・遺物、そして関連する博物館・美術館に関心を抱き、課題に取り組むことができる。 | | | 授業参加度・態度 | 40% | | |
| 思考・判断 | 古代オリエントに関連する遺跡と世界中の博物館に収蔵されている展示遺物の考古学および歴史学的意味を読み解き、自らの考えを述べるができる。 | | | 課題レポート・発表 | 20% | | |
| 技能・表現 | 日本語と外国語文献両方から考古学と古代史に関する論文執筆を展開できる能力を習得することができる。 | | | 課題レポート・発表 | 20% | | |
| 知識・理解 | 古代オリエント文明に関する用語や事象を理解でき、また、古代アッカド語（初級）の文法・語彙を習得できる。 | | | 課題 | 20% | | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>日本語と英語の文献講読を行う。受講者は、担当箇所について、課題レポートの執筆と発表を行う。レポートと発表は、文献の理解度、問題提起など20評価項目から構成される評価シートを使い評価する。古代アッカド語（初級）の文法・語彙の授業後に毎回課題を与え評価する。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>人類共通の文明発祥の地である古代オリエント文明の核をなす古代メソポタミア文明を中心に、古代エジプト文明や古代インダス文明、古代エーゲ文明にもふれ、文明の発達過程と様相を日本語と英語の文献講読と討議から理解する。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：文献史料のコピーを配布する。 参考書：授業の際に指示する。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>日本と海外にある古代オリエント文明の遺跡や博物館・美術館に訪問する機会を持ってほしい。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|--------------------------|---|--|
| 1 | はじめに | <ul style="list-style-type: none"> ・授業全体の導入と説明 ・日本語・英語講読文献の紹介 | 復習：シラバスの復習 予習：バビロニア・カッシート王朝、中アッシリアという言葉調べ |
| 2 | 最古の帝国の出現（1） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市国家の連立と対立 ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：エラム王国、ミタンニ王国、ヒッタイト王国という言葉調べ |
| 3 | 最古の帝国の出現（2） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際化と多極化（1） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：ラメセス2世、新王国時代という言葉調べ |
| 4 | 最古の帝国の出現（3） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際化と多極化（2） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：新アッシリア帝国という言葉調べ |
| 5 | 最古の帝国の出現（4） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・アッシリアの台頭（1） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：旧約聖書という言葉調べ |
| 6 | 最古の帝国の出現（5） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・アッシリアの台頭（2） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：ティグラト・ピレセル3世、サルゴン2世という言葉調べ |
| 7 | 最古の帝国の出現（6） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・新アッシリア帝国の再興（1） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：エサルハドン、アッシュールバニバルという言葉調べ |
| 8 | 最古の帝国の出現（7） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・新アッシリア帝国の再興（2） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：新バビロニア帝国という言葉調べ |
| 9 | 最古の帝国の出現（8） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・最後の帝国（1） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 予習：ペルシア帝国、アレクサンドロス大王という言葉調べ |
| 10 | 最古の帝国の出現（9） 古代オリエント文明 | <ul style="list-style-type: none"> ・最後の帝国（2） ・英語文献講読 | 復習：今回の復習 |
| 11 | 楔形文字演習初級（1） | <ul style="list-style-type: none"> ・古代アッカド語文法・語彙（1） | 復習：今回の復習 予習：古代アッカド語の発音と音節 |
| 12 | 楔形文字演習初級（2） | <ul style="list-style-type: none"> ・古代アッカド語文法・語彙（2） | 復習：今回の復習 予習：古代アッカド語の名詞と前置詞 |
| 13 | 楔形文字演習初級（3） | <ul style="list-style-type: none"> ・古代アッカド語文法・語彙（3） | 復習：今回の復習 予習：古代アッカド語の代名詞と無動詞 |
| 14 | 楔形文字演習初級（4） | <ul style="list-style-type: none"> ・古代アッカド語文法・語彙（4） | 復習：今回の復習 予習：古代アッカド語の動詞 |
| 15 | 楔形文字演習初級（5） | <ul style="list-style-type: none"> ・古代アッカド語文法・語彙（5） | 復習：今回の復習 |